

令和元年 7月市長定例記者会見

日 時：令和元年7月4日（木） 午後1時30分～2時

場 所：射水市役所会議室305・306

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、政策推進課長、地域振興・文化課長、
射水市民病院経営管理課長、商工企業立地課係長

○質疑応答の概要

Q 1 . 複合交流施設が市民にとってどのような施設となることを期待しているのか伺いたい。

A 1 . 複合交流施設は、7月26日に旧新湊庁舎跡地にて、民間業者による起工式が行われ、来年には完成する予定となっている複合交流施設と併せて公共交通ターミナルも整備する。複合交流施設が、観光客の方も含めた人の流れの拠点に、また、市民活動の拠点になっていくことを期待している。近隣の内川などベイエリアを中心に観光客が多く来ているが、これを機に、新湊エリアにより多くの方々にお越しいただき、更なる賑わい創出に繋がりたい。また、8月3日に開催するシンポジウムなどで、市民の皆さんや多くの団体の皆様に新湊を中心として盛り上げていけるような活動を考えていただき、連携を図りながら射水市全体の賑わい創出に繋がっていききたい。複合交流施設には、射水市の活気づくり、賑わいづくりや活性化の拠点となるような活用を期待している。なお、同じ建物の中に入る射水商工会議所と射水ケーブルネットワーク株式会社などの団体との連携を図り、まちづくりの取組において、相乗効果を発揮するよう取り組んでいきたい。

Q 2 . 富山市の森市長が今期限りで退任することが発表したが、そのことについて一言伺いたい。

A 2 . 森市長とは、県市長会等において、いろいろ意見交換を行い、まちづくりへのご指導も賜った。森市長は、コンパクトシティをはじめ、SDGSへの取組など、地方都市の特色あるまちづくりに積極的に取り組んでこられた。任期はまだ2年弱残っているため、今回の引退発表は驚いた。引退を発表されたことについてのコメントは控えたいが、さらにご活躍いただき、健康にご留意され、これまで以上にご活躍されることを期待したい。また、射水市との連携、自分自身への指導も賜れればと考える。

Q 3 . 「まちづくりシンポジウム in 新湊」では、様々な意見が出てくると考えられるが、どんな意見が出てくることを期待し、その意見をどのように活用するのか伺いたい。

A 3 . 「まちづくりシンポジウム」を、まちづくりを考えるきっかけにして欲しい。一般的に、まちづくりを進めていく中で懸念されることは、「市民の無関心」や「民間事業所が補助金頼みの話をする事」、また、「行政がやりっぱなしで続かないこと」である。この「まちづくりシンポジウム」を通して、自分たちのまちについてしっかりと考えてもらいたい。様々な意見を出すことがひとつのエネルギーになると考えている。そのエネルギーを未来のより良いまちづくりにつなげていけるように取り組んでいきたい。頂いた意見1つ1つに答えられるかはわからないが、意見を出すことでエネルギーを生み出していけるようなシンポジウムにしたいと考えている。

Q 4 . 「まちづくりシンポジウム in 新湊」で講師を務める松本大地さんに、今後、新湊地区の活性化のためのアドバイザーを委嘱する考えはあるか。

A 4 . 講師の松本大地先生には、講師とコーディネーターを務めていただく。松本先生は、これまで「食とまちづくり」や「食と賑わい創出」といった「食」を地域資源とした提案をしている。射水市は「食」の資源を持っていると自負している中で、地域活性化やまちづくりへの様々なご提案をもらえればと考えている。シンポジウムに当たって、これまでも様々なアドバイスをいただいております、シンポジウムの後のまちづくりや賑わい創出にもアドバイスやご提案をいただければと考えている。